

「第2期志木市子ども・子育て支援事業計画」（素案）について

1 意見公募期間

令和元年12月5日(木) ～ 令和2年1月6日(月)

2 計画(素案)の公開場所

- ・志木市ホームページ
- ・子ども家庭課、健康増進センター、柳瀬川駅前出張所、志木駅前出張所、いろは遊学館、宗岡公民館、宗岡第二公民館、柳瀬川図書館、いろは遊学図書館、福祉センター、第二福祉センター、総合福祉センター、児童センター、宗岡子育て支援センター、いろは子育て支援センター、西原子育て支援センター、子育て支援センターぶちまある

3 意見募集状況

人 数		意見件数
個人	団体	
4人	1件	14件

区 分	
◎	意見を反映し、修正・加除(一部を含む)を行ったもの
○	原案のとおりとするもの
△	その他

No.	頁	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
1	全体	下宗岡、上宗岡のあたりに子どもの遊び場が少なく、公民館に常時開放しているフリースペースやあそび場、支援センターや児童館があるとよい。特に支援センターについては、下宗岡地区は、最近アパートも増え、小さい子が増えているため、必要性を感じる。	計画策定にあたり平成31年2月に実施した「子育て支援についてのアンケート調査」においても、同様のご意見をいただいております。今回策定する計画に基づき、整備を進めてまいります。	○
2	28	放課後児童健全育成事業(学童保育クラブ) について 最下部に「※いずれも定員を上回る受け入れをしているため、確保量よりも利用実績が上回っています」とあるが、大幅な利用実績の上回りで、1人あたりの場所の確保や安全保障を求める。	学童保育クラブの受け入れ児童数は、現状では定員を上回る弾力的な受け入れを行っておりますが、国の定める「放課後児童クラブ運営方針」等に基づき定めており、放課後にすべての子どもたちが安心・安全に過ごし、多様な体験・交流活動などを行うことができる、人員体制・施設面積を確保しております。	○
3	30	一時預かり事業 について ③リフレッシュ保育について、利用率が低いと聞くが、市としてどう考えるのか？	リフレッシュ保育の対象となる在宅子育て家庭のうち、必要な保護者が希望するときに安心して利用できるよう、保育士の確保と質の向上を図るとともに、引き続き事業の周知に努めてまいります。	○
4	31	病児・病後児保育事業 について 乳幼児だけでなく、小学生も預けてもらえる施設が欲しいという働く親の意見がある。	令和2年1月現在、病後児保育については、市内民間保育園1園と緊急サポートセンター事業で、病児保育については、緊急サポートセンター事業で対応しており、対象年齢は、病児保育・病後児保育とも0歳から小学6年生までとしております。今後は、これらの事業の周知徹底に努めるとともに、病児保育・病後児保育を実施する民間保育園の拡大を図ります。	○
5	52	放課後志木っ子タイム について 概ね評価はよいが、何時間も校内で自由にさせているということで、子どもの所在確認や管理、不審者に対する安全確認はどのように行っているのか。	放課後志木っ子タイム中は、児童の移動からプログラム実施まで全ての活動において、必ずスタッフが付き添い、所在を確認しております。また、不審者対策として施設の施錠を徹底するとともに、お迎えの際は職員が必ず迎えに来た人の確認を行い、安全な引き渡しに努めております。	○
6	52	放課後志木っ子タイム について 親としても遊び場が増え、学校という場所やカードリーダーでの管理など安心して送り出すことができ助かっている。職員の対応もしっかりしていて、工夫を凝らしたさまざまなプログラムも企画され、楽しみに参加できている。	貴重なご意見ありがとうございます。今後も、安全面に十分に配慮しながら、事業の充実にも努めてまいります。	○
7	52 55	放課後志木っ子タイム及びリフレッシュクーポン について 他市の友人から羨ましがられている。より良い環境でモデルとなしてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。両事業とも今回策定する計画に基づき、これまで以上に充実した事業となるよう努めてまいります。	○
8	55	一時預かり事業及び預かり保育事業 について 乳幼児のいる家庭は、P18にあるように教育・保育無償化となっても、現在、未就労の母親については「母親の就労は変わらない」考えの人が70.6%である。しかし、その中には、潜在的な存在として一時保育の短時間利用制度があれば利用者が増えると考えている。	計画策定にあたり平成31年2月に実施した「子育て支援についてのアンケート調査」では、一時預かり等フルタイムで働いていなくても利用できる保育の要望が多数寄せられています。このため、今回策定する計画に基づき、要件を問わない一時預かり保育事業を検討してまいります。	○
9	71	放課後志木っ子タイム について 利用していて助かっているが、利用人数も増え、施設が狭くはないかと心配である。安全面にも目をむけていただけるとありがたい。	放課後志木っ子タイムを導入する際、使用可能な部屋を複数調整しており、安全面に配慮しながら、利用人数に合わせて使う施設を用意しております。	○

No.	頁	公募意見概要	公募意見に対する市の考え方	区 分
10	75	リフレッシュ保育事業利用率 について 現状値34.4%に対し、令和6年度の目標値が37%は低いと考える。40%以上を目指してほしいがいかがか。	リフレッシュ保育事業の利用率の向上を図るためには、まず、保育士の確保が必要です。今回の計画素案における目標値は、これまでの実績に基づき、さらなる保育士確保策を講じ、その効果を見込んだうえで、毎年0.5%の上昇とし、設定したものです。	○
11	76	子育てに関する情報提供 について ホームページの「e子育て」が児童向けなので、乳幼児向けのものがあるとよい。また、志木っ子メールもタイムリーに活用して頂きたい。	市ホームページやメール配信、LINEなどを積極的に活用し、乳幼児向けの情報を含め、これまで以上にタイムリーで充実した子育て情報の提供に努めます。	○
12	77	教育相談 について 以前にお世話になったが、初回から2回目の相談までの間が1か月ほど開いた。もう少し早く対応していただけると助かる人も多いと思うので、早期解決に向けた対応をお願いしたい。	教育サポートセンターでは、専門知識を持った相談員が教育相談をしております。年々、相談件数が増加している中で、限られた人数の相談員が担当しており、相談日程の調整が難しく、ご希望に合った日程の確保が難しくなっております。今後に向け検討してまいります。	○
13	79	キッズゾーンの設定 について 志木駅東口ペDESTリアンデッキを活用し、未就学児が安全に遊べる室外スペースを作してほしい。	志木駅東口ペDESTリアンデッキは、横断歩道橋であり、歩行者を最優先に考えるスペースであるため、未就学児のための室外スペースを設けることは難しい状況にあります。しかし、志木駅周辺は子どもの遊び場が少ないため、この計画の重点施策に「子どもの遊び場の確保」を掲げ、今後、確保策を積極的に展開していきます。	○
14	86	発達障がい理解啓発事業 について 発達障害だけでなく、小児高次脳機能障害についても啓発する事業と位置づけてほしい。	発達障害者支援法に基づき、脳機能の障がいのひとつとして、小児高次脳機能障がいも含んだ啓発をしてまいります。	○